



2024年12月10日

各 位

会社名 萩原工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 浅野和志
(コード番号：7856 東証プライム)
問合せ先 取締役執行役員事業支援部門長
藤田 学
(TEL. 086-440-0860)

(訂正・数値データ訂正) 「2024年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」
の一部訂正に関するお知らせ

当社は、2024年9月9日に発表いたしました「2024年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」について、一部訂正がありましたのでお知らせします。

また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信します。

1. 訂正の理由

訂正の理由につきましては、別途、本日(2024年12月10日)付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度の決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所(下線部は訂正部分を示します)

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後のみを全文添付し、訂正の箇所には下線____を付して表示しております。

以 上



2024年10月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年9月9日

上場会社名 萩原工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7856 URL <https://www.hagihara.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浅野 和志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員事業支援部門長 (氏名) 吉田 淳一

TEL 086-440-0860

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年10月期第3四半期の連結業績(2023年11月1日～2024年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期第3四半期	24,408	5.0	1,720	19.9	1,935	16.1	1,289	55.1
2023年10月期第3四半期	23,237	5.2	1,434	40.7	1,667	35.4	2,870	391.5

(注) 包括利益 2024年10月期第3四半期 1,704百万円 (37.6%) 2023年10月期第3四半期 2,730百万円 (88.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年10月期第3四半期	93.99	
2023年10月期第3四半期	205.15	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年10月期第3四半期	43,471	29,171	66.8
2023年10月期	42,651	28,122	65.8

(参考) 自己資本 2024年10月期第3四半期 29,057百万円 2023年10月期 28,046百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年10月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年10月期		25.00		25.00	50.00
2024年10月期(予想)		25.00		25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年10月期の連結業績予想(2023年11月1日～2024年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	2.4	2,200	11.2	2,300	2.2	1,600	48.7	116.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年10月期3Q	14,897,600 株	2023年10月期	14,897,600 株
-------------	--------------	-----------	--------------

期末自己株式数

2024年10月期3Q	1,183,173 株	2023年10月期	1,183,173 株
-------------	-------------	-----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年10月期3Q	13,714,427 株	2023年10月期3Q	13,994,651 株
-------------	--------------	-------------	--------------

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、個人消費の回復、また、自動車の生産回復が設備投資や輸出などの幅広い需要項目を押し上げたことが寄与し、2024年4～6月期の国内総生産が前期比年率3.1%プラスとなりましたが、1～3月期の大幅な落ち込みの反動の側面が強いため、景気が完全に回復したとは言い難い状況がありました。また、7月末の日本銀行による利上げ発表に伴う急激な円高進行もあり、輸出企業への業績影響が懸念され、今後の経済状況における不安材料を残すこととなりました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、各種物価上昇に対応するための製品価格への転嫁や原材料見直し等による原価低減に取り組み、採算性を重視した活動に注力してまいりました。

その結果、売上高244億8百万円（前年同四半期比5.0%増）、営業利益17億20百万円（前年同四半期比19.9%増）、経常利益19億35百万円（前年同四半期比16.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億89百万円（前年同四半期比55.1%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益が大きく減少している理由は、前年度に当社連結子会社の青島萩原工業有限公司が土地収用に伴い受領した収用補償金20億22百万円及び同社の清算により発生した子会社清算益2億50百万円を特別利益に計上したためであります。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

[合成樹脂加工製品事業]

合成樹脂加工製品事業におきましては、製品価格の値上げ起因によるユーザーの買い控えが継続したこと等により、農業資材向けや一般資材向けの原糸販売が依然として低調だった一方で、災害対策や住宅向け需要が強い粘着テープ原反は引き続き堅調に推移し、シート関連では遮熱シート等の高付加価値製品が増加しました。また、ラミクロスは減収であったものの、海外向けでは円安も追い風となり売上が増加しました。包装資材用途のメルタックは生産能力増強の効果もあり大幅な増収となりました。コンクリート補強繊維「バルチップ」の販売数量は微減ですが、円安効果による海外売上高が増えたことにより増収となりました。

インドネシア子会社「ハギハラ・ウエストジャワ・インダストリーズ社」におきましては、梱包資材製品の生産回復もあり増収増益、国内子会社「東洋平成ポリマー株式会社」におきましては、製品価格の値上げ実施による買い控え等で減収となりましたが、生産性改善等で増益となりました。

その結果、売上高200億33百万円（前年同四半期比1.2%増）、営業利益13億68百万円（前年同四半期比4.7%増）となりました。

[機械製品事業]

機械製品事業におきましては、スリッター関連機器は中国市場の景気減速の影響を大きく受け、中国向け輸出は低調となりましたが、軟包装材用途といった国内需要が拡大し、また、インターネット販売の拡大に伴う梱包用ダンボールの需要拡大を好機に、自動製罐用のクラフトテープ専用全自動スリッターを販売し増収となりました。車載用全固体リチウム電池の極材試作ラインを開発製品として取り組んだ結果、自動車メーカーへの納入に至り、新たな事業領域の開拓が実現しました。

プラスチック関連機器はリサイクル需要の拡大で増収となり、ペットボトル水平リサイクル用の高濾過型スクリーンチェンジャーの販売が好調でした。最新機種に変更したプラスチックリサイクル用試験機は、フィルムを中心とした消費財のリサイクル需要を中心に取組企業から好評価を受けており、今後も環境対応のニーズを取り込んでまいります。

その結果、売上高43億74百万円（前年同四半期比27.3%増）、営業利益3億51百万円（前年同四半期比177.5%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産の部では、流動資産は226億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億93百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金が4億26百万円、その他が3億66百万円それぞれ減少したこと等によります。

固定資産は207億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億12百万円の増加となりました。これは主に建設仮勘定が15億99百万円増加したこと等によります。

負債の部では、流動負債は94億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億23百万円の増加となりました。これは主にその他が5億99百万円増加したこと等によります。

固定負債は48億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億53百万円の減少となりました。これは主に長期借入金が5億56百万円減少したこと等によります。

純資産の部は291億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億49百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金が5億97百万円、為替換算調整勘定が4億円それぞれ増加したこと等によります。この結果、自己資本比率は66.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月11日に公表いたしました業績予想の変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,138,450	5,711,461
受取手形及び売掛金	7,386,760	7,183,095
電子記録債権	1,267,164	1,349,992
商品及び製品	2,804,960	2,658,697
仕掛品	3,169,921	3,400,952
原材料及び貯蔵品	1,511,841	1,553,809
その他	1,213,658	847,176
貸倒引当金	△17,479	△23,481
流動資産合計	23,475,279	22,681,704
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,546,956	7,538,867
機械装置及び運搬具（純額）	3,715,395	3,753,089
工具、器具及び備品（純額）	395,262	419,006
土地	3,853,106	3,851,502
建設仮勘定	1,295,981	2,895,410
有形固定資産合計	16,806,703	18,457,875
無形固定資産		
のれん	108,333	89,583
その他	388,224	384,471
無形固定資産合計	496,557	474,054
投資その他の資産		
保険積立金	389,139	366,426
その他	1,484,016	1,491,049
投資その他の資産合計	1,873,156	1,857,476
固定資産合計	19,176,416	20,789,406
資産合計	42,651,695	43,471,110

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,732,983	1,960,084
電子記録債務	1,675,753	1,508,087
短期借入金	2,314,843	2,253,838
未払法人税等	428,705	407,342
賞与引当金	655,336	402,813
製品保証引当金	36,909	36,909
その他	2,325,977	2,925,106
流動負債合計	9,170,509	9,494,182
固定負債		
長期借入金	4,374,922	3,818,612
退職給付に係る負債	754,284	729,317
その他	229,745	257,142
固定負債合計	5,358,951	4,805,072
負債合計	14,529,461	14,299,255
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,778,385	1,778,385
資本剰余金	1,490,082	1,490,082
利益剰余金	24,912,660	25,510,449
自己株式	△1,501,196	△1,501,196
株主資本合計	26,679,932	27,277,720
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,683	52,637
繰延ヘッジ損益	3,695	△5,230
為替換算調整勘定	1,237,590	1,637,867
退職給付に係る調整累計額	90,167	94,926
その他の包括利益累計額合計	1,366,137	1,780,201
新株予約権	52,322	88,546
非支配株主持分	23,842	25,386
純資産合計	28,122,234	29,171,855
負債純資産合計	42,651,695	43,471,110

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)
売上高	23,237,033	24,408,187
売上原価	17,102,137	17,705,905
売上総利益	6,134,895	6,702,282
販売費及び一般管理費	4,700,645	4,982,180
営業利益	1,434,250	1,720,102
営業外収益		
受取利息	28,578	16,431
受取配当金	3,691	4,546
受取保険金	41,807	31,459
為替差益	111,104	110,155
試作品等売却収入	24,472	19,734
その他	75,677	90,713
営業外収益合計	285,330	273,042
営業外費用		
支払利息	44,171	45,858
売上割引	160	—
その他	7,493	11,411
営業外費用合計	51,825	57,269
経常利益	1,667,755	1,935,874
特別利益		
投資有価証券売却益	—	14,495
収用補償金	2,022,422	—
子会社清算益	250,450	—
特別利益合計	2,272,872	14,495
特別損失		
固定資産売却損	—	2,415
固定資産除却損	—	6,749
特別損失合計	—	9,164
税金等調整前四半期純利益	3,940,628	1,941,205
法人税等	1,063,944	648,431
四半期純利益	2,876,684	1,292,774
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,707	3,690
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,870,976	1,289,083

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)
四半期純利益	2,876,684	<u>1,292,774</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,628	17,954
繰延ヘッジ損益	△4,040	△8,925
為替換算調整勘定	△140,242	398,130
退職給付に係る調整額	△22,667	<u>4,758</u>
その他の包括利益合計	<u>△146,321</u>	<u>411,918</u>
四半期包括利益	<u>2,730,362</u>	<u>1,704,692</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,722,556	<u>1,703,147</u>
非支配株主に係る四半期包括利益	7,805	1,544

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年11月1日至2023年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	合成樹脂 加工製品事業	機械製品事業	計		
売上高					
日本	13,724,812	2,522,051	16,246,863	—	16,246,863
アジア	2,259,738	881,862	3,141,601	—	3,141,601
北アメリカ	1,481,335	29,998	1,511,334	—	1,511,334
南アメリカ	1,201,571	—	1,201,571	—	1,201,571
ヨーロッパ	518,252	1,802	520,054	—	520,054
オセアニア	602,199	—	602,199	—	602,199
アフリカ	13,031	376	13,408	—	13,408
顧客との契約から生じる収益	19,800,940	3,436,092	23,237,033	—	23,237,033
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	19,800,940	3,436,092	23,237,033	—	23,237,033
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	172,513	172,513	△172,513	—
計	19,800,940	3,608,605	23,409,546	△172,513	23,237,033
セグメント利益	1,307,466	126,783	1,434,250	—	1,434,250

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	合成樹脂 加工製品事業	機械製品事業	計		
売上高					
日本	13,303,870	3,881,962	17,185,832	—	17,185,832
アジア	2,662,306	490,675	3,152,981	—	3,152,981
北アメリカ	1,698,472	1,275	1,699,747	—	1,699,747
南アメリカ	1,456,241	—	1,456,241	—	1,456,241
ヨーロッパ	467,434	557	467,991	—	467,991
オセアニア	438,878	—	438,878	—	438,878
アフリカ	6,513	—	6,513	—	6,513
顧客との契約から生じる収益	20,033,717	4,374,469	24,408,187	—	24,408,187
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	20,033,717	4,374,469	24,408,187	—	24,408,187
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	324,881	324,881	△324,881	—
計	20,033,717	4,699,351	24,733,068	△324,881	24,408,187
セグメント利益	<u>1,368,320</u>	<u>351,782</u>	<u>1,720,102</u>	—	<u>1,720,102</u>

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)
減価償却費	1,058,134千円	1,259,988千円
のれんの償却額	57,652	18,749